

第 42 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-42) 報告

SPP-42 プログラム委員長 東京科学大学 竹内希

1. 会議名称：第 42 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-42)
2. 主催：応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会
(前回 SPP-41 より、旧 学術振興会 153 委員会による SPSM とは切り離して開催)
3. 協賛学会：プラズマ・核融合学会，静電気学会，化学工学会
4. 期間：令和 7 年 1 月 28 日 (火) ～30 日 (木)
5. 場所：J:COM ホルトホール大分 (現地開催のみ)
6. 参加人数：合計 92 名
内訳：一般 60 名，学生 28 名，招待 4 名
7. 講演件数：65 件
内訳：プレナリー2 件 (応用物理学会 辰巳哲也様，東京大学 寺嶋和夫先生)，
プラズマ材料科学賞 2024 受賞記念講演 1 件 (名城大学 伊藤昌文先生)，
招待講演 2 件，シンポジウム講演 7 件，一般講演 53 件 (口頭 24 件，ポスター29 件)
8. セッションの具体的運営：
◎オープニング：SPP-42 プログラム委員会委員長 (プラズマエレクトロニクス分科会副幹事長) 竹内希，現地実行委員会委員長 金澤誠司先生
◎パラレルセッションにはせず，全ての講演をシングルセッションにて実施
◎2 日目午前に，特別企画シンポジウムとして，PE 分科会で作成した「アカデミックロードマップ」のお披露目シンポジウムを開催
◎初日午後に「プラズマ材料科学賞 2024 授賞式」および受賞記念講演を実施 (司会 大阪公立大学 白藤立先生)
◎3 日目クロージング：SPP-42 プログラム委員会委員長 (プラズマエレクトロニクス分科会副幹事長) 竹内希，現地実行委員会委員長 金澤誠司先生
9. 情報交換会：2 日目講演終了後 参加者人数 33 名
10. コーヒーブレイク：休憩時
11. プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 4 回)：21 件の応募，SPP-42 プログラム委員会による厳正な審査の結果，プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 4 回) として，令和

7 年 1 月 30 日付けで以下 2 件が受賞決定：

- ・ 八井田朱音（東京科学大学）「セルソーターと誘導結合プラズマ飛行時間型質量分析計を用いた高選択性単一細胞中元素分析」
- ・ 内海亮（東北大学）「電界誘導二次高調波生成法（E-FISH）を用いた大気圧プラズマの時間電界計測」

なお、一次審査として予稿の審査を、二次審査として当日の発表の審査を行った。一次審査は口頭発表 4 名、ポスター発表 5 名の審査員で、二次審査は口頭発表 3 名、ポスター発表 4 名の審査員で審査を行った。

12. WEB サイト運営および参加料徴収関係：田中昭文堂印刷（金沢市）に委託，カード決済を基本（インボイス対応のため，現地委員会は現金にタッチしない方式）

13. 広告出社：合計 12 社様より（1 ページ広告 10 社，1/2 ページ広告 1 社）

14. 決算：ご質問があれば竹内までご一報ください

15. そのほか

- ・ 基本的な運営方針は前回の SPP-41 と同一
- ・ 会計に関しては，代行業者として実績ある田中昭文堂印刷様が，事情をよくご承知，価格もリーズナブルゆえ，選定
- ・ 大きな黒字運営の主たる要因は，広告出社企業様が，多数出稿してくださったこと
- ・ 現地実行委員の負担をできるだけ低減させるため，名札は各自手書きなど，アナログが使えるところはアナログで対応
- ・ 特別企画シンポジウム「アカデミックロードマップ」については，古閑先生，白藤先生，各分野の主査をご担当された先生方と，プラ核からお招きした佐々木徹先生のご協力で開催できました。ありがとうございました。
- ・ 次回 SPP-43 は大阪公立大学 呉先生を現地実行委員長として開催予定

SPP-42 の報告の最後に，以下の先生方の献身的なご協力に，心より感謝申し上げます。

【プログラム委員会委員】（敬称略）

松井都（日立製作所），全俊豪（青山学院大），田中宏昌（名古屋大），谷出敦（SCREEN HD.），呉準席（大阪公大），田中学（九大），村上朝之（成蹊大），内田儀一郎（名城大）

【現地実行委員会委員】（敬称略）

委員長 金澤誠司（大分大），副実行委員長 市来龍大（大分大），実行委員 川崎仁晴（佐世保高専），川崎敏之（西日本工大），大島多美子（長崎大），田中学（九大）